

### 平成27年度 地域発 元気づくり支援金事業総括書

事業名	文化体験による都市間交流事業
事業主体 (連絡先)	松本市 (政策部 都市交流課 0263-34-3193)
事業区分	(3) 教育、文化の振興に関する事業
事業タイプ	ソフト
総事業費	2,785,690円 (うち支援金: 688,000円)

#### 事業内容

- 都市間交流のきっかけづくりとして、松本市の魅力である3つのガク都(岳都・楽都・学都)を実際に訪れ、体感する文化体験・交流モニターツアーを実施
- 札幌市、熊本市及び福岡県宗像市の市民を対象に応募のあった22人が参加
- 共通プログラムの他、各コースに分かれ普段の観光とは一味違う特別プログラムを体験
  - ・ 上高地に泊まり五感で自然を感じるガイドウォーク(日中、早朝の2回)
  - ・ 四賀地区に泊まり、おやき作り体験を通じての住民との交流
  - ・ 明治の授業体験、農産物収穫体験等



【体験プログラムの様子】

#### 【目標・ねらい】

- ① 松本市を知ってファンを増やす
- ② 参加者の言葉で魅力を発信してもらう
- ③ 都市間の交流人口を拡大する

#### 事業効果

※地域活性化のための目標・ねらいに対してどのような効果があったか、項目毎に記載すること。

- 参加者の各プログラム満足度が非常に高く、圧倒的多数が再訪を希望するなど、交流人口拡大につながった。
- 参加者の家族や職場の人々への口頭での情報発信に加え、SNSや新聞投稿等での「松本の魅力」の情報発信など、松本のファンづくりに成功
- 継続的な情報提供を希望する人が大多数で、リピーターとしての再訪に留まらず、さらなる交流人口拡大が期待できる。

#### ※自己評価【A】

##### 【理由】

- 松本市への移住を検討したいという参加者もいるなど、単なるリピーターではなく移住・定住のきっかけづくりとなることがわかったこと
- 観光素材として光を当てていなかった地域の文化が新たな観光素材と成りうる可能性があり、住民を巻き込むことで地域活性につながることをわかったこと

#### 今後の取り組み

※今後、事業効果をどうつなげていくか記載すること。

- 参加者に対して継続的な情報提供をするために(仮称)ガク都通信を発行し、交流の継続や再訪を促すだけでなく、さらなる交流人口拡大につなげます。
- 参加者を巻き込んだ情報発信の手段としてSNS等の活用を検討

※ 自己評価欄は、地域活性化に及ぼす事業効果について、以下から選択のこと。

「A」: 予定を上回る効果が得られた 「B」: 予定していた効果が得られた

「C」: 一定の事業効果はあったが事業実施方法や今後の活用等について、工夫や改善を要する点がある